築上町社会福祉協議会

No.74
2021(令和3年).1.1

社協だより

八津田小学校にて、車いすバスケット体験教室

指導員：桜花台クラブ

謹賀新年
令和三年
丑

今年もよろしくお願いします

社会福祉協議会は、皆さまからの会費、寄付金、共同募金などで支えられています。そして、皆さまと共に地域福祉に役立つ活動や支援を進めていきます。本年もよろしくお願いします。

この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成しました。

社会福祉法人
築上町社会福祉協議会
会長　中村　信雄

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

築上町社会福祉協議会は、地域の皆様方のご厚情をいただきながら、地域福祉に尽力しております。ここに日頃のご協力に厚く御礼申しあげます。

前年度反省の上、新春の抱負を述べさせていただきます。

◆前年の経過

令和2年は、新型コロナの蔓延で過密による、集合的活動の規制の中、文化交流、経済活動の規制にも及び、精神的に疲弊する中、生活費にも影響する事態となってきました。生活支援資金の借り入れ世帯が急増しました。

1億5千万円もの選挙費を受け、選挙違反で起訴され収監中の国会議員は、毎月2百万円程の歳費、事務費を、税金で受け取っています。このお金があったら、築上町の生活困窮者が何人救えるか考えると、心が痛みます。

すべての国民には選挙権がありますので、投票で主張していきたいものです。

※昨年出来なかった催事
○ふれあいフェスティバル
○街頭赤い羽根募金活動
○子ども食堂
（弁当配布で対応）
○子どもフェスティバル
（春・夏）
○笑顔でふれあい
ワークショップ

ほとんどの催事が中止となり、寂しい中で、椎田中学校様のご協力により、夏休みの思い出として、「子ども食堂サプライズ花火大会」を行い、つかの間の癒しをしていただきました。

◆新年の抱負

コロナ禍の終焉を願いながら、新しい手法を考え、住民の皆様が心病まぬよう尽力いたします。

昨年できなかった催事も、コロナの状況で確定できませんが、実施の方向で検討していきます。

※新規事業を充実させ、住民の福祉サービスを推進していきます。

○フードバンク事業

余剰食品（生もの以外）を捨てることなく社協に提供いただければ、必要としている方に配布いたします。ご協力いただける方はご連絡をお願いいたします。

○生活支援体制整備事業

生活に対して困難なことを支援して不安を取り除けるよう、個人的に対応する体制を検討実施します。

○社会福祉法人連絡会

築上町で社会福祉施設を運営する法人が連携し協働の中、情報を共有しながら地域貢献に関する事業を模索研修し、福祉の増進に努めます。

最期に、築上町の第1期地域福祉計画の見直しが行われ、第2期地域福祉計画を策定しております。社会福祉法の改正や、住民の生活形態の多様化、複雑化に対応した内容で、地域での共生互助が大事になってきます。

築上町社会福祉協議会は、築上町と協働して、地域福祉に尽力してまいりますので、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

広報部会より

令和2年度教育委員会委託事業

「車いすバスケット体験教室」

2020.10.27(火) 16:30～18:00 八津田小学校にて

広報部会　　吉田 冨美代

この事業は、“共生社会”を学んでほしいと、教育委員会から委託されたNPO法人しいだコミュニティ倶楽部の取り組みで、4年ぐらい前から、築上町の中学校2校で行われているそうですが、今年は椎田中学校の1校と町内の放課後児童クラブの子ども達と“八津田MBCブレイブリザーズ”ミニバスケットクラブの子ども達の21名が参加して行われました。

指導してくださったのは、車いすバスケット用の車いすを20台、持参してくださった久留米の「桜花台クラブ」の3名の方です。

「桜花台クラブ」の方にお話をお聞きしました。

“障がい者共生スポーツとは”
共に楽しむを実践する事

・障がいの種類の違う人たちと健常者が共に学ぶ
・歩けなくても・見えなくても一緒に楽しめる
　→コミュニケーションをとる
・コミュニケーションをとりながら、一緒にやる
・コミュニケーションだけでは出来ない事は、道具をつかう
・ルールを変える→心を変える
・パスは心のキャッチボール

本当に楽しむ為に心のバリアフリー社会の中でどう変わっていくか
↓
相手のことを考える(思う)

車いすの操作の方法やルールを習い、鬼ごっこなどをしながら練習。
その後チームに分かれて変則ルールで試合。最初は、車いすにてこずっていた子ども達も直ぐに慣れて、とても楽しそうにイキイキとしていました。

終了後の子ども達の声
・不自由な気持ちが解かった
・最初は車いすのコントロールが難しかった
・興味がわいた
・楽しかった！(ほとんどの子ども達)

ふるさと回想　安武「町」の思い出

片山整形外科医院 理事長　片山　修史（北九州市在住77歳）

城井川に沿って寒田方面に県道を進み赤幡橋を過ぎると安武です。そこに安武の「町」と通称されて、約1キロほども途切れなく整然と続く家並みがあります。

下城井小学校から城井中学校に通った私はこの「町」を通り抜けて学校へ通いました。最近は人通りも少なく住んでいない家や空き地もあり寂しい感じがしますが、かつては、「町」と言われるにふさわしく、本筋で、なかなか立派な街並みでした。その懐かしい下城井村のメインストリートを思い出してみます。中心部には石造りの立派な玄関をもつ下城井村役場、その周りに郵便局、農協、法務局登記所、駐在所、医院、自転車屋、鍛冶屋、電気屋、呉服店、酒醸造元、酒屋、肉魚屋、雑貨商店、乾物屋、理髪店、製畳屋、料理屋、製麺所など、あの一並びの通りにこれほどのお店が立ち並んでいました。もっと昔の地図では福岡銀行安武支店、九電出張所、傘屋、ふすま屋、たばこ屋、豆腐屋などもあったようです。

美しい漆喰壁の酒屋本宅と酒蔵など立派な建物も多く、一つ裏手には大庄屋屋敷跡の長い石垣が続いて、学校帰り道の格好の遊び場でした。その先の下城井小学校には５００名を超える児童が通っていました。

人通りも絶えることなく、暮れの大売り出しには各店に旗がたち、くじ引き場には大当たりの鐘の音がなりひびいていました。又、春のお祭りにはお神輿が練り歩き、夜はお神楽が始まりました。夏にはアイスキャンデーを作る店ができて、棒キャンデーを何本もザルを持って買いに行きました。※古学校（ふるがっこう）の空き地には旅芝居の芝居小屋が建つこともありました。ふるさとを離れて数十年になりますが、あの頃の安武「町」の風景が懐かしく思い出されます。

※古学校（ふるがっこう）＝明治時代の小学校の跡で下城井小学校の前身

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございました

令和２年１０月１日より全国一斉に実施されました「赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金」につきましては町民のみなさま、ならびに関係各位のみなさまより多大なるご寄付をいただきありがとうございました。

寄せられた募金につきましては、地域福祉充実のために有効に使用させていただきます。

令和２年度 赤い羽根共同募金実績額

12月17日現在（単位：円）

戸別募金	2,970,300
法人募金	159,000
学校募金	105,235
職域募金	50,000
資材募金	27,527
その他	11,744
合計	3,323,806

令和２年度 歳末たすけあい募金実績額

12月17日現在（単位：円）

戸別募金	990,200
合計	990,200

みなさまから寄せられた赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金はこのような事業につかわれています。

《赤い羽根共同募金》

高齢者福祉活動費
- 高齢者等見守り事業費
- 高齢者団体育成推進事業費

障がい児・者福祉活動費
- 障がい者団体育成推進事業費

児童・青少年福祉活動費
- 新入園児黄色い帽子贈呈事業費
- 夏期学童保育事業費
- 子育てサークル支援事業費
- 母子父子野球観戦事業費
- 子ども食堂事業費

その他福祉活動費
- 入門・基礎手話講習会事業費
- 男性料理教室事業費
- 福祉入門教室事業費
- ふれあいフェスティバル事業費
- 心配ごと相談事業費
- 母子寡婦福祉団体育成推進事業費
- 民生委員・児童委員活動推進事業費
- ボランティア連絡協議会活動推進事業費
- 社協だより発行事業費

《歳末たすけあい募金》
- 支援が必要な方への見舞金配分事業費
- おせち料理配布事業費
- 幼稚園・保育園児プレゼント配布事業費

【戸別】
- 築上町66自治会

【法人】

〔椎田地区〕
- 介護老人保健施設　青海山荘
- キクヤス・カフェ
- 大阪屋精肉店
- ＪＡ福岡京築　椎田支店
- 清華園
- (有)西口住宅設備
- 眞光寺
- 宝積寺
- 法住寺
- 法然寺
- 吉田食料品店
- (株)栄信建設
- 辻自動車工業(株)
- 正善寺
- 宮野建設(株)

〔築城地区〕
- 正光寺
- 浄徳寺
- 特別養護老人ホーム 誠松園
- 特別養護老人ホーム 誠松園　デイサービスセンター
- 片山医院
- たかむら歯科・小児歯科医院
- 陽光学園おやまだ
- ワークランド・こすもす
- 第二ワークランド・こすもす
- 共同生活介護事業所「こすもす」
- 京築防災
- 進電化サービス
- 有本歯科医院
- (株)ついきプロヴァンス
- 介護付き有料老人ホームやまぼうし
- デイサービス花みずき
- 坂本自動車整備工場

【職域】
- 航空自衛隊築城基地隊員一同

【学校】
- 築城特別支援学校
- 椎田中学校
- 築城中学校
- 西角田小学校
- 椎田小学校
- 小原小学校
- 葛城小学校
- 八津田小学校
- 築城小学校
- 下城井小学校
- 上城井小学校

【幼稚園】
- めぐみ幼稚園

【保育園】
- 山びこ保育園
- 椎田そらいろ保育園
- 八津田保育園
- 福間保育園
- 築城保育所
- 東築城保育園
- 第一青蓮保育園
- 第二青蓮保育園
- 光耀保育園

【歳末たすけあい】
- 築上町66自治会

寄付金のお礼

築上町社会福祉協議会に次の方々よりご寄付をいただきました。ご芳情に対して厚くお礼申し上げます。

この浄財は、社会福祉事業を推進するために、大切に使わせていただきます。

なお、社会福祉協議会へご寄付された場合は、所得税の控除対象となります。

（令和2年9月19日～令和2年12月17日受付分まで掲載）

香典返し

◆椎田地区

（湊南）大溝博文様（亡義母　竹下満喜子様）
（鬼塚）牛島三江子様（亡夫　平八郎様）
（椎田中）髙橋俊之様（亡父　義弘様）
（椎田西）中野正様（亡母　ナナヤ様）
（臼田）斎藤香夜子様（亡母　松﨑ハツ子様）
（西高塚）種子二美様（亡夫　正様）
（東高塚）鶴田昌宏様（亡叔母　ミチ子様）
（宇留津）森田達雄様（亡妻　貞子様）
（東八田）宮崎早苗様（亡夫　又男様）
（今津）城幸雄様（亡母　マツヱ様）
（西八田）加藤琢磨様（亡父　忠章様）
（水原）大倉英樹様（亡妻　ハツ子様）
（極楽寺）藤田美弘様（亡母　邦夫様）
（下日奈古）山内豊美様（亡母　弘子様）
（真如寺）宮川和子様（亡夫　芳久様）
（小原）有久悦子様（亡母　地男様）
（山添）永沼千里様（亡母　小畑チヨ子様）
（福間）大森恵子様（亡夫　利廣様）
末永マサヱ様（亡夫　繁様）

◆築城地区

（寒田）神崎久生様（亡母　チヨ子様）
（下本庄）三隅信子様（亡夫　友義様）
（赤幡）田染勇治様（亡妻　人江様）
（上小山田）永尾富美法様（亡母　愛子様）
（広末）塩田孝二様（亡母　テツ子様）
（上築城）末次美智子様（亡夫　國隆様）
（東築城）中野敏文様（亡父　義夫様）
平田邦茂様（亡母　昌子様）
中本宣子様（亡夫　昭治様）
入野智実様（亡母　京子様）
江川昭子様（亡夫　茂登雄様）
平成洋一様（亡母　克代様）
（上別府）木村澄夫様（亡母　和美子様）
（下別府）中部智様（亡母　フサヱ様）

一般寄付

北代　芳松様、有延　靖世様、中上　貞一様
繁永　高美様、匿名希望様

フードバンクへ食品などのご寄付をいただきました
（令和2年9月19日～12月17日受付分まで掲載）

・川本　真澄 様　・伊藤　愛子 様　・谷口　康雄 様
・藤田　春菜 様　・北代　芳松 様　・魚住　莉奈 様
・越路自治会 様　・辻自動車工業㈱ 様　・英明会 様
・北川兄弟商会 様　・みっちゃん 様　・清心福祉会 様
・F&Sケイチクジム 代表　則松　年廣 様
・築城郵便局 課長代理　橋本　景子 様
・カットハウス　ナオ 様
・地域包括支援センター職員 様
・匿名希望　3名 様

ちくじょう子ども食堂へ食材等のご寄付をいただきました
（令和2年9月19日～12月17日受付分まで掲載）

・辻　芳子 様　・井上　俊明 様　・冨永　幸人 様
・村上　浄証 様　・久保　直人 様　・髙山　芳美 様
・北代　芳松 様　・有延　靖世 様　・喜代原紘一郎 様
・上田一二三 様　・岩武　孝泰 様　・田中アヤ子 様
・宮秋ツル子 様　・加来　正勝 様
・安部味噌製造所 様
・ワークランドこすもす 様
・結の石窯パン 様
・築上町母子寡婦福祉会
・匿名希望　4名 様

北代 芳松さん

広報部会 編集員を離れて　井上 孝之助

先ず、今の立場について告白しないと、読者のみなさんに奇異に感じられる。

9月下旬に、みなさんに愛され長く住み慣れた地を跡にして、福岡市に転居した。その約2週間後、荷物の整理もやっと終えてゆっくりしているところに、編集事務局から“編集員としての思い出”を書かないかとの電話を頂戴した。コロナ禍でいろんな事業が縮小気味で広報もネタ不足かな、という思いもあり前向きに捉えて書いてみることにした。

思えば、編集員として5、6年やったのかな？「社協だより」は年5回の発刊で、4,5名の編集員が、チームとなって企画、記事分担、校正といった工程を経て出版される。

「社協だより」の使命は、町民のみなさんへの“福祉”についての広報である。その目的達成のためには、“町民に読まれる”「社協だより」でなければならない。そのためには、取り上げる記事のテーマ性、書き手の文章力、紙面のレイアウト、色彩などが問われる。文章力については、新聞一面のコラム欄（朝日新聞の「天声人語」など）の書き写しが参考になるとよくいわれる。しかし、そこまではなかなか難しいので、せめて自分なりに、「起承転結」、「5W1H」、「てにをは」、「句読点」などに注意しながら最後は「推敲」を重ねて…、このような努力をする。結果として、皆さんに届けられたものが読まれているかの把握がまた難しい。はっきり言って、反応がないことは、あまり読まれてないかなと思わねばならない。あとは編集チームの努力のみとなる。

チームを離れた立場で勝手なことを言って、“思い出”か“想い”かが分からなくなったが、何はともあれこちらの上空からエールを送って許しを請う。

“築上町の「社協だより」頑張れ！”

知らんやった！地域は宝の山やぁ〜〜〜ん

連絡先：築上町社会福祉協議会　56-2223
（生活支援コーディネーター　山口）

上岩丸『ひがん花の会』

今回は、上岩丸の健康サロンでお宝情報をもらい、中村さんのお宅に伺いました。昭和64年に地域活性化のため《いわまる共和国》を立ち上げ、加工品等を作ったりして、20年間活動をしていたそうです、内容は中村さん宅の倉庫では、漬物と味噌漬け、共和国加工所では、味噌やお餅を作り、公民館で荷造り配送を行ったそうです。多い時は年間１万円で全国400件に旬の野菜（里芋、南瓜、筍、わらび、かぼす）、米、味噌、漬物等を年3〜4回程送っており、現在も若い人達で味噌加工所は稼働中です。「忙しかったけどあの頃は動けたし、若かったし、一番楽しかったね」と話されていました。

今は高齢になり、中村さんの家に3〜4人が週3回程度、午後に集まり、お茶を飲みながらおしゃべりをしていたらいつの間にか夕方になり、そのままみんなで相撲等を見たりするとのことです。お互いの家が近くなので、朝カーテンが開いているか、畑に行っているか、夜は電気が着くかの確認をしあっているそうです。独居で寂しさもありますが、地域で支え合い一日でも長く自宅での生活を希望し、私は「前に3回入院したけど、家に帰りましたよ、隣近所がよくしてくれるからね」と言われた。お互いが見守り、見守られて、住み慣れた地域での生活を続けてみてはいかがですか。

令和２年度 福祉入門教室

『自分のため、家族のため、地域のために』暮らしに役立つ住民福祉講座 受講生募集

近年多発している自然災害に対する取組みや支援方法について各地で検討されている中、新型コロナウイルスによって従来から繋がっていた人とのつながりが見直されています。アフターコロナを見据えた災害の取組みを考えなければなりません。地域の防災力を高めるとともにコロナ禍の災害について専門の講師とともに学びましょう。

日時：２月６日（土）10時30分〜12時
内容：「コロナ禍における災害対応について〜久留米市の豪雨災害から学ぶ」
講師：一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事　藤澤　健児 氏

申込み・お問い合わせ
築上町社会福祉協議会
電話 0930-56-2223

場所	築上町椎田社会福祉センター「自愛の家」講義研修室
対象	関心のある方
定員	３０名
参加費	無料
申込み	前日までにお電話にてお申込みください
主催	築上町社会福祉協議会 京築地区福祉人材バンク

編集後記

広報部会　畦津多恵子

あけましておめでとうございます。令和３年の元旦、みなさんは、何を考えられましたか。わたしは新型コロナウイルスの終息を願い、心から平穏であることを祈りました。

これからは、福祉、社会福祉協議会のことをみなさんに理解していただき、気軽に立ち寄れ、相談できる所として活動できるように広報に努めていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いします。

■編集・発行　社会福祉法人 築上町社会福祉協議会
築上郡築上町大字椎田861の1
TEL(56)2223 FAX(56)2244
ホームページ http://chikujyo-shakyo.jp/